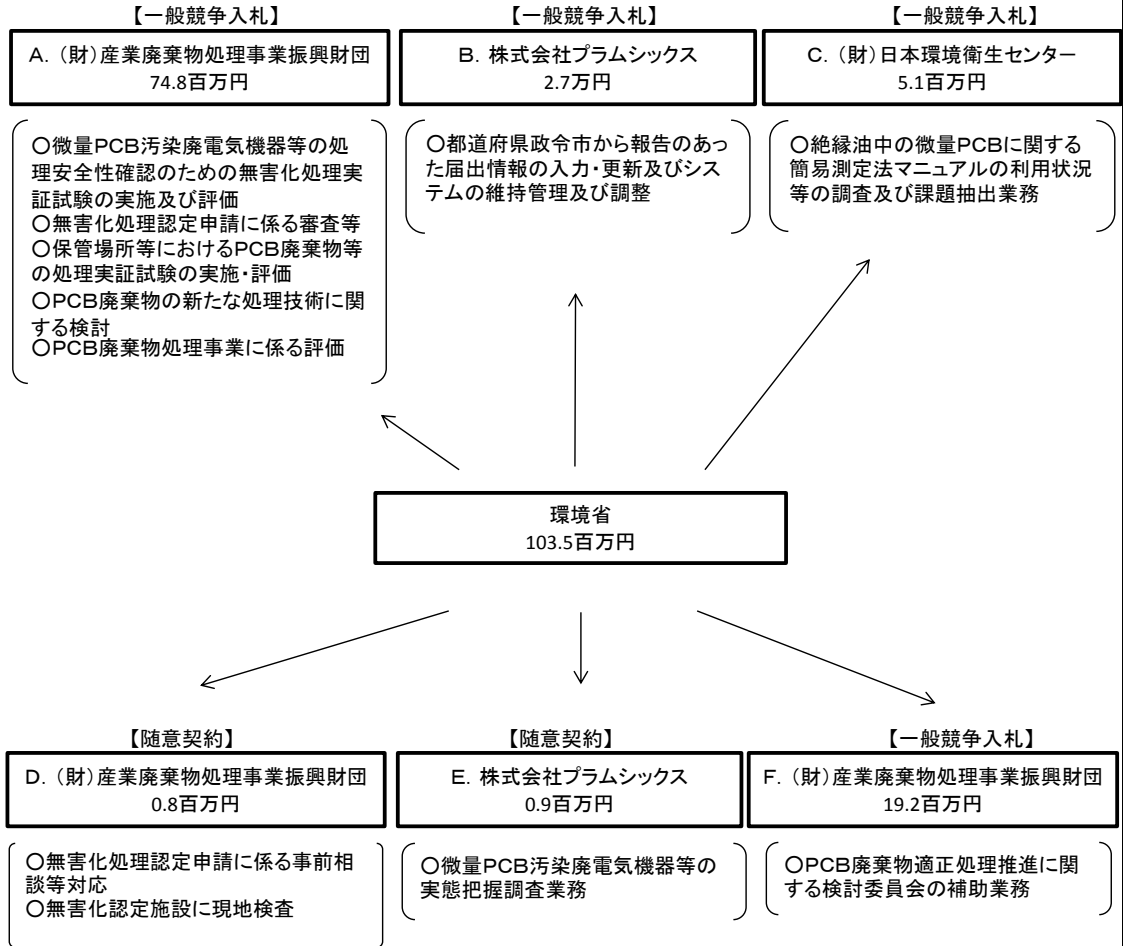


平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	PCB廃棄物適正処理対策推進事業		担当部局	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：平成13年度		担当課室	産業廃棄物課		産業廃棄物課長 廣木 雅史			
会計区分	一般会計		施策名	4-4 産業廃棄物対策（排出抑制・リサイクル・適正処理等）					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法第5条及び第8条等		関係する計画、通知等	PCB廃棄物処理基本計画					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>○微量PCB汚染廃電気機器等について、処理の安全性確認のための実証及び無害化処理認定等により、その効率的かつ確実な処理体制の構築を図る。</p> <p>○大きさや漏洩等の制約により処理が困難なPCB廃棄物について、実態把握・処理実証を踏まえ、円滑なその処理の推進を図る。</p> <p>○PCB特別措置法に基づく全国のPCB廃棄物の保管等の状況に関する適切な把握等により、PCB廃棄物の円滑かつ確実な処理の推進のための情報としての活用を図る。</p>								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>○微量PCB汚染廃電気機器等について、各種設定条件において安全かつ確実な処理が行えることを確認するための処理実証試験の実施・評価を行う。</p> <p>○廃棄物処理法に基づく無害化処理に係る認定申請に係る審査等を実施する。</p> <p>○絶縁油中の微量PCBを短時間かつ低廉な費用で測定できる方法(簡易測定法)の評価等を行う。</p> <p>○処理が困難なPCB廃棄物について、全国における実態把握調査、効果的な処理方策検討のための実証の実施・評価を行う。</p> <p>○PCB特別措置法に基づくPCB廃棄物届出データについて、都道府県及び政令市から報告のあった届出情報の入力・更新及びシステムの維持管理及び調整を行う。</p>								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
		当初予算	28	107	97	114	146		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
	計	28	107	97	114	146			
	執行額	25	99	104					
執行率(%)	89%	93%	107%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(28年度)		
	PCB廃棄物(高圧トランス等)全体累積処理台数			件	58,364	88,765	120,177	329,500	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込		
	処理実証試験評価数			回	7 (7)	6 (4)	9 (10)	— (8)	
単位当たりコスト	処理実証試験評価1件当たりの金額 (3,374千円/件)		算出根拠	※平成23年度 処理実証評価に係る予算額(30,366千円) /処理実証試験評価数(9件)=3,374千円					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	環境保全調査費	114	146						
	計	114	146						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	PCB廃棄物の円滑かつ確実な処理の推進のため、国が事業を実施する。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	競争入札により、競争性を確保している。また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	請負者において仕様書に基づき限られた予算内で確実にかつ効率的に業務が実施され、当初想定された成果が得られた。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>請負者における業務の進捗状況を随時把握し、請負者において仕様書に基づき限られた予算内で確実にかつ効率的に業務が実施され、当初想定された成果が得られたことを確認しており、事業実施状況の把握は適切に行っている。今後も引き続き、最大限の成果が得られるよう効果的・効率的な執行に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>長期に渡り継続して実施していることから、事業内容を重点化することなどにより、予算額を節減すべき。</p>		
	<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>		
一部改善	<p>一部事業を廃止及び一部事業の借入料等を削減。</p>		
	<p>補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）</p>		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	137,145	平成23年行政事業レビュー	129

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(財)産業廃棄物処理事業振興財団			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。				
計		74.8	計		0
B.株式会社プラムシックス			F.(財)産業廃棄物処理事業振興財団		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。			本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	
計		2.7	計		19.2
C.(財)日本環境衛生センター			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。				
計		5.1	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	産業廃棄物処理事業振興財団	微量PCB汚染廃電気機器等の処理安全性確認のための無害化処理実証試験の実施及び評価、無害化処理認定申請に係る審査等、保管場所等におけるPCB廃棄物等の処理実証試験の実施・評価、PCB廃棄物の新たな処理技術に関する検討、PCB廃棄物処理事業に係る評価	74.8	1	96.8

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社プラムシックス	都道府県政令市から報告のあった届出情報の入力・更新及びシステムの維持管理及び調整	2.7	2	68.3

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本環境衛生センター	絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアルの利用状況等の調査及び課題抽出業務	5.1	2	98.9

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	産業廃棄物処理事業振興財団	無害化処理認定申請に係る事前相談等対応、無害化認定施設に現地検査	0.8	随意契約	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社プラムシックス	微量PCB汚染廃電気機器等の実態把握調査業務	0.9	随意契約	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	産業廃棄物処理事業振興財団	PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会の補助業務	19.2	2	92.8